

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、
次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成24年度第1回 高松市ユニバーサルデザイン基本指針策定懇談会
開催日時	平成24年8月27日(月) 10時00分～11時45分
開催場所	高松市役所 3階 32会議室
議 題	(1) 会長・副会長の選任について (2) 高松市ユニバーサルデザイン基本指針骨子案について (3) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	上杉委員，遠藤委員，黒川委員，田村委員，中島委員，野口委員，早馬委員，平木委員，平野委員，三矢委員，宮本委員，元山委員，吉田委員
傍 聴 者	0人
担当課および 連絡先	政策課ユニバーサルデザイン推進室 839-2141

審議経過および審議結果

会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。

議事(1) 会長・副会長について

高松市ユニバーサルデザイン基本指針策定懇談会設置要綱第3条第1項の規定により、委員の互選により会長，副会長を選任した。

会 長 吉田 莞爾委員

副会長 平木 あつ子委員

議事(2) 高松市ユニバーサルデザイン基本指針骨子案について

高松市ユニバーサルデザイン基本指針骨子案について事務局より説明

【主な質疑・意見等】

(中島委員)

街を支える基盤が、さりげなく皆に使いやすいように整えられていることが、多くの方が街の中にでてきやすいという状況を作り出すのだと思う。

また、自閉症の方にはシンプルで分かりやすい理解が必要な方々がいるので、その方々に合わせていけば、多くの人たちに分かりやすくなるのではないか。

(野口委員)

市民一般の方が、ユニバーサルデザインについての知識を深めてもらい、それを実践していくということが一番重要ではないか。

(早馬委員)

ユニバーサルデザインという言葉を知る人が、今現在どれくらいいるのだろうか。私は後期高齢者の立場として、自分が不都合に感じていることや、周りの人が望んでいるようなことを発言していきたい。

審議経過および審議結果

(上杉委員)

実際にユニバーサルデザインが使われている自動販売機などにステッカーを貼るなどして市民に啓発すれば、こういうことをすればユニバーサルデザインに繋がるのだという意識付けにもなると思う。

(遠藤委員)

ユニバーサルデザインの啓蒙，普及啓発の仕方が大切で，その手法の中に高松らしさを盛り込んでいければいいと感じている。

また，施設整備マニュアルに基づいていろいろな届出制度が定められているが，徹底されていない気がするので，そのあたりの対策も市で考えていただきたい。

(黒川委員)

ユニバーサルデザインというものは，社会的にこれから進化していかなくてはならない大切なことだと思う。差別化を行うことにより商品を買ったりしている現代の社会では，この考え方はなかなか受け入れられないと思うが，知識，心の問題を追及していけば，自然に良いものを作ってもらえるようになると思っている。

(田村委員)

現在，精神障害の方も知的障害の方も，本当に社会参加に向けていろいろな活動をしているが，まだまだ受け入れられていない状態である。ユニバーサルデザインという言葉ばかりが先に進むのは，置き去りにする人を作るのではないかと思うので，この懇談会の中で，私が経験してきたことを意見として言っていきたい。

(三矢委員)

ユニバーサルデザインの基本というものは，県外や海外の人を案内できる人材育成であり，その裏には自分の街への知識が必要となってくる。こういったことが街を大切にすることにつながってくるので，高松らしさ，高松の優しさ，というものも街を知ることから始まると思う。

(平野委員)

外国人の立場として，ずっと支えてほしいということではなく，早く自立するための配慮があれば助かると思う。困っている人に自然に寄り添うようになり，自立できるように持っていくことができるようになればいい。

また，この基本指針を作った後，市として限られた予算や時間の中で，どのようにユニバーサルデザインを促進していくのだろうかと思っている。

(宮本委員)

ハード整備となると，すべての人に対応させるのは限界があるので，人づくりが一番重要になってくるのではないか。また，人づくりのためには，まず心のバリアフリーということを進めていくことが欠かせないのではないかと思う。

(元山委員)

外国人の方でも暮らしやすい社会が高松市のユニバーサルデザインであるならば，日本語が分からないが，仕事や留学に来ている中国や韓国の方の意見を聞く場を設けてはどうだろうか。

審議経過および審議結果

(副会長)

市がコンパクトエコシティを推進しているが、そういう面でもユニバーサルデザインの考えを盛り込んだまちづくりができれば、もっと皆が住みやすくなるのではないかと思う。

また、他の委員の意見を聞いていて、心のバリアフリーが最も大切だということを感じた。

(会長)

より生活しやすくするために、ハード整備を進めてもらいたいという気持ちがあるが、一番大切なのは、市民の意識、心をいかにユニバーサルデザインにすることだと思う。それをスタートにしないと、いくらハード面、あるいはソフト面が良くなっても、根本的には変わっていかない。ユニバーサルデザインを推進することは、教育面でも非常に大切なことであると思う。

—以上で審議終了—